

報道関係者各位

2026 年 10 月 14 日

au フィナンシャルサービス株式会社

ナッジ株式会社

株式会社ジェーシービー

au フィナンシャルサービス、ナッジ、JCB

カード共創プラットフォーム構築に向け戦略的連携

～企業やコミュニティと金融機能を結びつける「カード共創プラットフォーム」を構築、

若年層・Web3・エンターテインメント領域などで新たな経済圏の創出を目指す～

au フィナンシャルサービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：長野 敦史、以下「au フィナンシャルサービス」）、ナッジ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：沖田 貴史、以下「ナッジ」）、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長：二重 孝好、以下「JCB」）は、多様な企業やコミュニティが独自のクレジットカードを迅速かつ柔軟に展開できるカードプラットフォームの構築に向け連携し、au フィナンシャルサービスとナッジ、ならびに au フィナンシャルサービスと JCB との間で基本合意書を締結しました。

本取り組みでは、企業やコミュニティがすでに持つ顧客接点と、au フィナンシャルサービス、ナッジ、JCB が保有する金融・決済・カード発行機能を組み合わせることで、カードを起点とした新たな会員基盤と経済圏の創出を目指します。

企業やコミュニティは、自社のサービスやコンテンツと連動した独自のクレジットカードを通じて、顧客との継続的な接点を形成し、会員基盤の拡大や顧客エンゲージメント向上を図ることが可能になります。

本取り組みは、従来のカード会社主導の会員獲得モデルとは一線を画し、企業やコミュニティが持つ顧客基盤を活用した「カード共創モデル」の実現を目指すものであり、金融・決済・デジタルサービスの融合による新たな会員基盤形成を推進します。

1. 取り組みの背景

キャッシュレス決済やサービスのデジタル化が進む一方、企業が独自のクレジットカードを立ち上げるには、国際ブランドとの連携、カード発行基盤、業務運営など専門的な対応が必要であり、企画から提供開始までの負担が課題となります。

また、企業やデジタルサービス事業者にとっては、顧客との関係を強化するための会員制度やロイヤリティプログラムの重要性が高まっています。しかし、顧客接点を日常的な利用へつなげる仕組みの構築や金融サービスの提供には、高い専門性や運営体制が求められます。

本取り組みでは、au フィナンシャルサービスの金融・決済事業に関する知見、ナッジのクラウドネイティブなクレジットカード基盤およびカード運営ノウハウ、JCB の国際カードブランドとしての決済ネットワーク・機能を組み合わせることで、カードごとの大規模な個別開発負担を抑えながら、企業のブランドや顧客特性に合わせたカードサービスを迅速かつ柔軟に展開できる事業基盤を構築します。

さらに、本プラットフォームは企業やサービス事業者が保有する顧客接点と、3 社が持つ金融インフラを組み合わせることで、金融サービスを活用した新たな会員基盤の形成を支援することを目指します。

2. 本プラットフォームの概要および特長

企業やコミュニティが持つ顧客接点と日常の決済をつなぎ、継続的に特典やサービスを届けられる環境を構築します。また、カード会員には経済的価値に加え、個人の関心やサービスとのつながりを反映した新しいカード体験を提供します。

(1) 企業やサービスごとに独自のクレジットカードを展開

企業やサービスごとのブランド、世界観、顧客層、利用シーンに合わせて、独自のクレジットカードを企画・展開できる環境を整備します。券面デザインだけでなく、ポイント還元に限定されない利用特典、アプリ上の機能、会員向けコンテンツなど、パートナー企業ごとの提供価値をカードサービスに反映することを目指します。

(2) 多様なカードを迅速かつ柔軟に立ち上げ

ナッジのクラウドネイティブなクレジットカード基盤「Nudge クレカ as a Service(CCaaS)」を活用することで、カードごとに大規模な基幹システムを個別開発する負担を抑え、企画から提供開始までの効率化を図ります。

パートナー企業は、自社のブランド戦略や会員施策に応じたカードサービスを、より迅速かつ柔軟に展開できるようになります。

(3) スマートフォンを中心としたカード体験

カードの申し込み、利用状況の確認、支払いに関する手続き、問い合わせなどをスマートフォン中心で利用できるカード体験を目指します。また、パートナー企業のサービス、会員 ID、アプリなどと連携し、カード利用と会員特典、コンテンツ、サービス体験をシームレスにつなぐ仕組みを検討します。

(4) カードを起点とした継続的な顧客接点

カードを日常の決済で継続的に利用いただくことで、顧客との接点を一過性のイベントやキャンペーンのみならず日常生活の中に構築します。パートナー企業は、独自のカードを通じて継続的な価値を提供し、新たな会員基盤の構築や顧客エンゲージメント向上に活用できます。

3. 各社の役割

・au フィナンシャルサービス

通信と金融・決済事業の連携による経済圏創出の知見を活かし、企業やサービス事業者との企画・事業開発、金融機能の提供、カード事業運営を担います。

・ナッジ

クラウドネイティブなカード基盤「Nudge クレカ as a Service(CCaaS)」、アプリ、カード発行・運営に関する機能と知見を提供します。

・JCB

JCB の国際カードブランドとしての決済ネットワーク、国内最大級の加盟店基盤・カード発行等を通じて培ってきた機能・ノウハウを提供します。

4. 今後の展望

3社は今後、本プラットフォームを通じて、さまざまな業界の企業・サービス事業者・団体との協業を推進し、それぞれが有するサービスやコンテンツ、コミュニティの顧客基盤と金融サービスを結びつけることで、新たな会員経済圏の創出を目指します。

活用領域としては、

- 学生や若年層のライフスタイルに合わせたクレジットカード
- 暗号資産、Web3、デジタル資産関連サービスと連携したクレジットカード
- エンターテインメント、ファンコミュニティ、推し活と連動したクレジットカード
- 企業やデジタルサービスが独自の会員プログラムとして展開するクレジットカード

などを想定しています。

5. 代表者コメント

au フィナンシャルサービス株式会社 代表取締役社長 長野 敦史

今回の取り組みは、多様な企業やサービス事業者・団体の皆さまとともに、カードを起点とした新しい顧客接点と経済圏の創出を目指すものです。パートナーさまが保有するサービスやコンテンツ・コミュニティと、3社の金融・決済・カード発行に関する機能と知見を組み合わせることで、それぞれの顧客に適したカードサービスを機動的に展開できる環境を整えてまいります。また、金融・決済・デジタルサービスの連携を通じて、新たな顧客体験の創出に取り組んでまいります。

ナッジ株式会社 代表取締役 沖田 貴史

au フィナンシャルサービス、JCB の両社とともに、新しいカードプラットフォームの構築に取り組めることを大変嬉しく思います。ナッジが培ってきたクラウドネイティブなクレジットカード基盤と柔軟なサービス設計を生かし、さまざまな企業やサービス事業者が、それぞれの顧客やブランドに適したカードサービスを迅速に提供できる環境を3社で構築し、未来の金融体験の創出に取り組んでまいります。

株式会社ジェーシービー 代表取締役会長 兼 執行役員社長 二重 孝好

JCB は、au フィナンシャルサービスおよびナッジとの連携を通じて、多様な企業やサービス事業者が独自のカードを展開できる新たなカードプラットフォームの構築に取り組んでまいります。

JCB がこれまで、総合決済サービス企業として培ってきた決済ネットワーク・国内加盟店網・カード発行等を通じて培ってきた機能・ノウハウを活用し、3社でパートナー企業のサービスや顧客基盤と連携した新しい決済体験の提供を目指してまいります。

6. 会社概要

au フィナンシャルサービス株式会社

所在地：東京都港区高輪 2 丁目 21 番 1 号 THE LINKPILLAR 1 NORTH 11 階

代表者：代表取締役社長 長野 敦史

事業内容：クレジットカード事業、決済・金融サービス事業等

URL：<https://www.aufs.co.jp/>

ナッジ株式会社

所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 4F FINOLAB

代表者：代表取締役 沖田 貴史

事業内容：クレジットカード事業、クレジットカードサービス基盤の提供

URL：<https://nudge.works/>

株式会社ジェーシービー

所在地：東京都港区南青山 5-1-22 青山ライズスクエア

代表者：代表取締役会長 兼 執行役員社長 二重 孝好

事業内容：クレジットカード業務、クレジットカード業務に関する各種受託業務等

URL：<https://www.global.jcb/ja/>

以上